

家庭のゴミ出しを・・・マイ箱で

1、はじめに

現在家庭のゴミ出しと言えば、指定の時間までに指定の場所へ指定された袋にゴミを入れて持っていくのが一般的である。このゴミ袋は市によって見かけが異なり、市によって平均的な価格も異なる。つまり同じ用途であるにもかかわらず、価格の高い地域もあれば安い地域もあるのだ。

袋が市によって指定され始めた目的は、ゴミの減量化である。実際にゴミの減量化は実現されており、効果が見られている。

しかし・・・

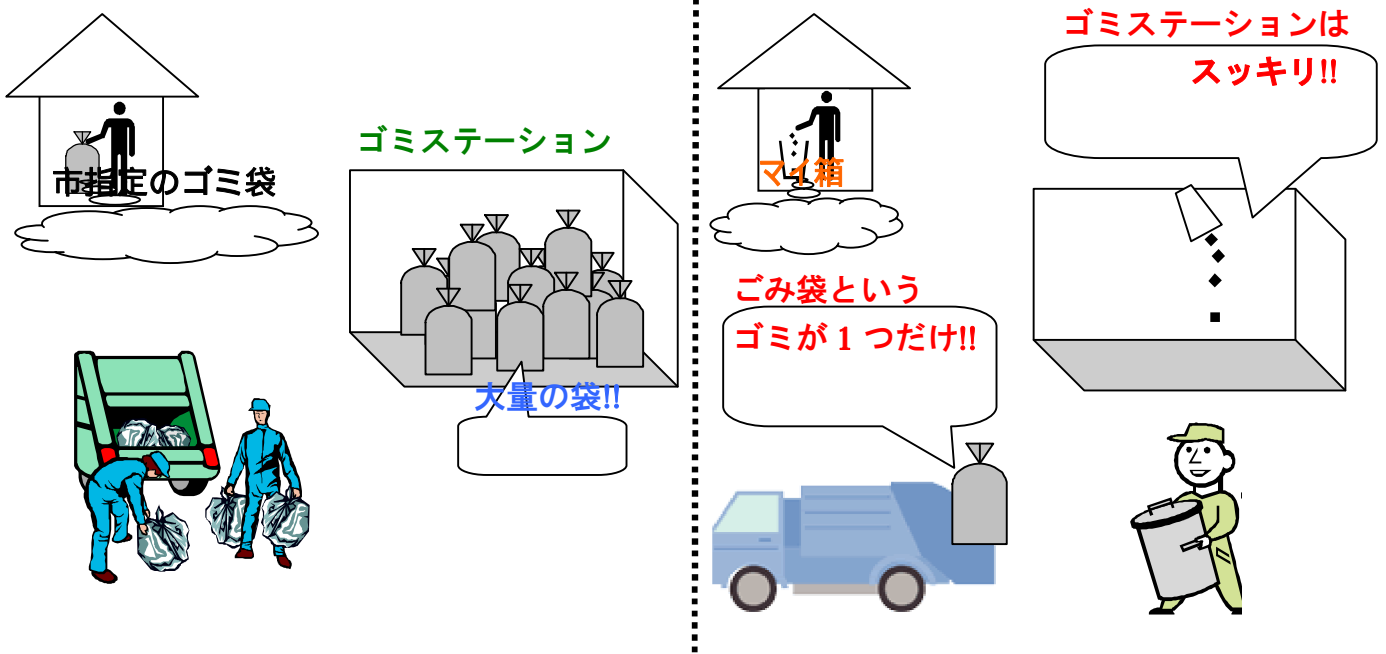
家計にそのような負担をかけゴミ袋を購入してもらい、その購入したゴミ袋もまたゴミとなる。たとえばゴミを減らすためとはいえ、その袋ももったいないのではないだろうか。また、現在のゴミステーションは歩道に位置するものもあり、その場合ゴミ袋が歩道上に大量に積まれ広がり、通行の邪魔や見た目にも悪い印象を与えている。

2、家庭のゴミ箱・・・マイ箱の提案

そこで私は、ゴミ袋に代わるマイ箱を提案する。まず家庭ごみを出す場所(ゴミステーション)に大きなバケツを設置し、その中に半透明または透明のビニールをかけておく。家庭で出たゴミは家庭のゴミ箱(=マイ箱)に溜め、ゴミ出し日までに、そのマイ箱ごとゴミステーションへ持って行き、そこにある大きなバケツにマイ箱の中のゴミを移す。そうしてマイ箱を持ち帰り、また次のゴミ出し日までゴミを溜めていく。もちろんここで、マイ箱にビニール袋などを取り付けている場合、そのビニール袋ごとバケツに捨ててしまってもいけない。ゴミを収集する業者は、そのバケツの袋を縛り、バケツごと持ち上げて傾かせ、中のゴミ袋をゴミ収集車に入れていく。また新たな袋をそのゴミ箱に取り付ける。

・現在のゴミステーションの様子

・対策後のゴミステーションの様子



・実現において予想される課題

- ①同じ地区の人全員のゴミを収納できるような、大きめのバケツ、大きめなビニールが必要
- ②いつでもバケツにゴミを入れることができるため、生ゴミによる悪臭に虫が集ったり、猫やカラスによってあらされる可能性があるため、防臭・防虫効果のある蓋や、倒れたくらいでは外れない頑丈な蓋が必要
- ③お年寄りでも簡単に開けられるような軽くてはずしやすい蓋が必要
- ④多くのゴミが入ることでバケツがかなりの重さになるため、収集する業者に負担

3、期待される効果

以上のような大きなゴミ箱の設置、マイ箱の使用により、以下のような効果が期待される。

・ゴミの削減

→各家庭1枚はその指定されたゴミ袋を使っていたが各地区でまとめて1枚となるため、ゴミ袋というゴミが減る。

・ゴミステーションがスッキリ

→歩道にゴミステーションがある地区は、ゴミがバケツ1つに収まっているため、道も通りやすくなり、また見た目にもスッキリして見える。

さらに以下のような効果も期待される。

・家計の節約

→指定されたゴミ袋を買う必要がなくなり、マイ箱にビニールを取り付けるとしても、比較的安い透明のビニールなどを使用できる。

・業者の効率アップ

→ゴミステーションに置かれる袋が1つだけになるため、何袋も収集車に入れる手間が省ける。またバケツごと持ち上げられるため、袋が破れて中身がこぼれる心配がない。

・ゴミの減量化

→各家庭で溜めてもっていくため、袋いっぱい詰めてしまうことがなくなり、本当に必要のないものだけ捨てるようになる。

・コスト削減

→現在は市ごとに異なる袋が作られ、その袋ごとに市の名前などの文字が記載されているが、文字をつけなくてすむので袋生産に無駄なお金がかからない

4、終わりに

マイ箸、マイバック、・・・、そしてマイ箱。エコの新たなスタートで、みんなでエコな街づくり。今大事なのは、便利な生活ではなく地球にやさしいエコな生活。そんな視点をまちづくりから始めよう。